入試年度	2027 年度	入試時期	Ⅰ期入学試験	実施日	2026 年 9 月 25 日
課程	博士前期課程	研究科	国際日本学研究科	専攻・コース	国際日本学専攻 日本語学・日本語教育学研究領域
入試方式	一般・外国人留学生		試験科目	専門科目	

「出題の意図」および「解答」または「解答例」

Ⅰ.論述問題

【出題の意図】

日本語学・日本語教育学研究領域における重要な理論やこれまでの研究の流れ・知見が整理できているか、また、それらについて、具体例を挙げながら、説明できるかを問う。

【解答例（採点時の観点）】

(1)

キーワード：

語根創造／合成・派生・混交・省略／転成／借用語／語種

評価の観点：

・新しく造語を行う場合と、既存語を用いて造語を行う場合とを区別しているか。

・既存語を用いた造語に、いくつかの方法があることを説明しているか。

・借用語の取り入れによる、語種の違いに基づく造語法の特徴に言及しているか。

(2)

キーワード：

母語の転移／語彙特性／学習環境／文脈／付随的語彙学習

評価の観点：

・第二言語習得の成否にかかわる学習者要因・言語要因を整理しているか。

・母語の転移が起こる背景や要因について、例を挙げながら説明しているか。

・関連する先行研究の知見に言及しつつ、自身の見解を述べているか。

Ⅱ.用語解説

【出題の意図】

日本語学・日本語教育学研究領域において研究を遂行するために必要となる日本語学・日本語教育学に関する基礎的知識を有しているかを問う。

【解答例（採点時の観点）】

(1) 間接受身

キーワード：

文の要素／能動文／自動詞・他動詞／迷惑・被害／持ち主の受身

評価の観点：

・話者・動作主・動作など文の要素の観点から説明しているか。

・能動文との対応や、直接受身との違いについて言及しているか。

・迷惑や被害など間接受身の表現が持つ意味やニュアンスに言及しているか。

(2) 男性語

キーワード：

使用場面／使用者／ジェンダー意識の変化／女性語／役割語

評価の観点：

・具体的な語彙や表現を挙げながら、男性語の性質を説明しているか。

・男性語の使用場面や使用者の特徴について言及しているか。

・ジェンダー意識の変化など、社会の変化と関連づけて説明しているか。

(3) 音象徴語

キーワード：

擬音語／擬態語／有縁性（有契性）／統語的特徴／意味拡張（多義性）

評価の観点：

・言語の恣意性・有縁性という観点から音象徴語を説明しているか。

・副詞用法、機能動詞「する」や助詞との共起に触れているか。

・意味が拡張し、多義性を有する事例について触れているか。

(4) 意味拡張

キーワード：

多義語／基本義（中心義）／派生義（周辺義）／比喩／認知的背景

評価の観点：

・意味拡張が起こる原理（特に比喩）ついて説明しているか。

・基本義（中心義）と派生義（周辺義）の関係について説明しているか。

・意味拡張と言語話者の認知的背景との関係について触れているか。

合否判定の方法及び基準

入学試験は国際日本学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。

合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。